



<http://www.scout-ib.net/>

◆ 関 正樹 連盟長 が就任されました

令和元年12月14日に、関 正樹 茨城県連盟第4代連盟長の推戴式が県青少年会館に於いて行なわれました。

各団団委員長や県連役員の見守中、ビーバーからローバーまでの代表スカウトに囲まれた関連盟長が入場され、推戴のことば、ちかいの式、連連盟ネットワークの贈呈、弥栄などがおこなわれ、第4代連盟長が誕生しました。

関連盟長あいさつ

連盟長を拝命しました 関 正樹 でございます。

わたくしとボーイスカウトの出会い、40数年前、下館第3団、現在の筑西第1団にカブスカウトとして入団したところから始まりました。

このボーイスカウトの経験を通し、学校では得られない関係を構築することができ、自然とのつながりを深めることができました。今思えば、良い経験ができた実感しております。

平成2年からは父 正夫 が連盟長を務めることとなり、親子共々様々な場

面で大変お世話になりました。現在も、スカウトとして身に着けたその精神は私の中に生きておりますので、今後の活動に活かして参ります。

さて、日本のボーイスカウト運動は大きな変革期にきています。加盟員の減少が長く続き、十万人の大会を割ってしまいました。アウトドアブームやスポーツクラブの隆盛、学びの広がりにより、ボーイスカウト運動に加入する子供たちが様々な分野に分散しているためでもあります。

しかし、一方でいじめや不登校、引きこもり、スマートフォンの普及による読解力の低下やネットトラブルなどの社会問題も深刻化し、子供のコミュニケーション力の低下や野外体験の不足が心配されています。野外を教場とし、班制教育で責任感やリーダーシップ、コミュニケーション能力を育てるこのボーイスカウト運動は、これからこの時代に必要とされている組織であると思っております。

本県連盟でも、八木理事長のもと、本年度は激動する国際社会にあって日

本の未来を担う青少年の健全育成を目指し、スローガンを「活動的で自立したスカウトを育てよう!」と定め、事業を展開しているところです。

特に第24回世界スカウトジャンボリーには40名のスカウト・指導者が参加し、国際交流を深めたと同っております。また、来年度の第20回茨城県キャンボリーの開催に向けた準備もスタートしまして、わたくしも連盟長として微力ながら、茨城県、ボーイスカウト振興茨城県議員連盟及びボーイスカウト茨城県連盟維持財団と連携協力して、この運動の発展に尽力したいと考えています。

最後になりましたが、本運動の推進は、各団・各隊にける指導者とスカウトが自信を持って生き生きとした活動を展開することが基本であり、そのことが県民の期待に応じ得ることとなり、同時に多くの青少年に開かれた活動となり、加盟員の拡大につながるものと確信いたします。

みなさん、共に手を携えて頑張って参りましょう。

◆ 緊急連絡 新型コロナウイルス感染症へ感染防止、お

県連盟コミッショナーの若林です。

2月に、県内においていろいろな形で影響が出て始めた新型コロナウイルスですが、4月7日（火）に、7都府県に緊急事態宣言が発令されるまでになりました。翌8日には、茨城県でも大井川知事から「茨城県からのお願い」が出され、「感染拡大要注意市町村（10市町）に居住の方及び事業者に対する要請」「県内に居住の方に対する要請」があり、さらに13日には、県内全域に平日・休日を問わず外出自粛が出されました。

テレビのニュースを見ていると、自粛をせずに街を歩く者、スーパーに家族連れで買い物に来る者、地方へ避難（疎開）する者など、「自粛」の意味を理解していない者たちが少なからずいるようです。しかし、私たちはスカウトです。ボーイスカウトのちかいに「神（仏）と国とに誠をつくし・・・」とあります。それを誓った私たちですから、この新型コロナウイルス感染症が拡大防止のために国や県や市町村が定めた内容については、疑問や不満があろうとも「自らすすんで」積極的に守り、感染拡大の防止に努めていきましょう。

不満や文句は、「理解が不足し」していたり、「やらされている」と意識していることで、でてくるものです。

秋田に「超神ネイガー（ちょうじんネイガー）」というローカルヒーロー戦士がいます。（名前の由来は、ナマハゲの叫び声「泣ぐ子（ご）は居ねがぁ！」から。）

彼の言葉です。

「発想の転換な。

まず自分は『既に無症状感染している』という前提で考えてみる。

何をしてはいけないかが掴めてくるはずだ。

外出しただけで他人の命を奪ってしまうかもしれない…。

つまり『不要不急の外出を控えることで、他人の命を救い続けている』
という訳だ。』

一本取られました。そうです、「不要不急の外出を控えることで、他人の命を救い続けている」のです。それを自らの意志で実行しよう。それこそが、スカウト、スカウト精神なんです。

では、茨城県連盟の対応について、改めて示します（これは、4月3日に県連ホームページに掲載したものを、4月14日現在の状況で更新したものです。）

1. 活動の自粛について

2020年5月6日（日）のGW連休明けまで、スカウト活動の自粛（中止または延期）を延長します。

活動を通じて地域で感染が広がるリスクが相対的に十分小さいと考えられる活動についての自粛は求められていませんでしたが、4月13日付で、更なる感染の拡大を受けての県からのお知らせ「茨城県にお住まいのすべての皆様へ」（下記囲み）を受けて、その範囲を全県に拡大して、**茨城県連盟の全ての団に対して、5月6日までの人が集まる全ての活動（隊集会、班・組集会、団委員会、団会議等）の自粛**をお願いします。（地区事業も同様です）

1. 平日・休日を問わず、不要不急の外出自粛

2. 緊急事態宣言の対象地域に居住する家族等に対する帰省の呼びかけを自粛、やむを得ず帰省された場合は、なるべく家族との接触を避け、14日間帰省先（実家等）で待機するとともに、帰国者・接触者相談センターへ連絡

3. すべての県立高等学校等については臨時休業

4. 勤務は可能な限りテレワークを活用



今般、4月3日付けにて日本連盟からの文書「新型コロナウイルス感染への対応について（第5報）」が届き、各団に即時配信いたしました。これにより活動の自粛期間は、5月6日（水）のゴールデンウィークまでの土日休日に延長となりました。更に4月13日には、茨城県から平日・休日を問わず、不要不急の外出自粛が求められる事態となりました。

これらを踏まえ、茨城県連盟といたしましては、国や県からの情報等を鑑み、左記のとおり対応いたしますので、ボーイスカウトの一員としての自覚を持って対応ください。

また、現在、県連盟コミッショナーが中心となって、コミッショナーやトレーニングチームが、家庭でできる隊集会のプログラムを作っています。みんなが集まる活動はできませんが、隊活動、班・組活動ができるように知恵を絞っています。プログラムができ次第、順次お届けします。団・隊におかれましては、制限された中でもスカウトが楽しくスカウティングに取り組めるよう、是非ともこのプログラムを活用ください。

以上、よろしくお願い致します。

理事長 八木 雄二

よび感染拡大防止に対する茨城県連盟の対応

2. 保護者とスカウトへの対応

団（団委員長及び隊長）からは、スカウトと保護者へ、コロナウイルス感染拡大防止に対する団の姿勢や、スカウト活動における対応や、スカウトへの注意事項などの「団の方針」を必ずお伝えください。また、今後の活動についてはその都度の状況で延期や中止もあり得ることも併せてお伝えください。

3. 運営上に必要な会議の開催について

自粛期間中は、上記に該当するもの以外の集会や会議等の開催は中止または延期をお願いしますが、団の運営上などでやむを得ない会議については、書面審議や Web 会議などで対応してください。

→ Web 会議 ZOOM 「テレビ・Web 会議ツール「Zoom」で検索

4. スカウトの進級などについて

予定の集会などが中止や延期になり、スカウトにとって進級が計画どおり進められないことがあると思います。スカウト個々の進級については、それぞれの団で認証のご判断を行っていただき、年度内で履修できず、活動再開が年度明けの履修となっても認証するなどご対応ください。

菊スカウト章、隼スカウト章については、まず地区コミッショナーにご相談ください。

5. この時期にご配慮いただきたいこと

活動ができない場合でも、各指導者におかれては、スカウトたちを励ますようお願いします。

また、この機会に個々の技能の練習をしてみるなど、スカウトたちに活動のヒントや誘いをいただくよう重ねてお願いいたします。茨城連盟ホームページでも「やってみよう!」のページを設け、活動のヒント等を掲載していますので、ご活用ください。

また、理事長メッセージにもありますが、県連盟コミッショナーが中心となって、Eメール等でできる隊活動プログラム「やってみようII」の準備をしています。これは隊長からスカウトにEメールでプログラムを提供して、実施した結果を隊長に報告し、認定してもらう・・・というものです。コミッショナーやトレーニングチームが頑張っプログラムを作っています。間もなく届けられるでしょう。

6. 危機管理上の通信連絡

今後、スカウト活動に関連した活動での感染もしくは感染が疑われるような事態があった場合は、関係者は各組織を通じた連絡（団→地区→県連盟→日本連盟）を速やかに行うよう、ご協力ください。

なお、感染が疑われる場合は、「帰国者・接触者相談センター」や「都道府県・保健所等」に直ちに相談ください。（→ QR コード）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/yobo/kiki/yobo/kansen/idwr/information/other/documents/corona-soudan.html>

7. 県連盟の行事について

● IB グランプリ 2019 は中止

3月22日（日）に予定されていたI-B グランプリ県大会についてですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う日本連盟の活動自粛方針により、延期とご連絡いたしました。地区大会に参加したスカウトの熱意を生かしたく、5月頃の開催を模索していましたが、4月7日に政府が7都県に緊急事態宣言を出すなど、予断を許さない状況となっています。茨城県内でも10市町に感染拡大要注意市町

● Web 会議環境の無償提供プログラム開始のお知らせ（日本連盟 HP より）

新型コロナウイルス感染症の広がりにより対面での活動を自粛する中においても遠隔で集会や会議の開催を支援することを目的として、Web 会議アプリケーションの Google Meet（以下、Meet）を使用することができる環境を必要とする団に期間限定で無償配布するプログラムを開始します。

通常有償の Meet を無料で使用できるこの機会に導入をご検討ください。

https://www.scout.or.jp/member/distribute_g_suite_account/



◆ 緊急連絡 新型コロナウイルス感染症への対応 続き

村の指定がされ、集会やイベントの自粛、休日の外出自粛等が要請される事態となっていることを踏まえて、早期の開催は難しいと判断し中止とします。

●第20回茨城県キャンボリーは来年に延期の予定

同様に、第20回茨城県キャンボリーにつきましては、「団グループ」単位での参加としていますが、その事前訓練等の予定が立たないこと、感染拡大の収束の目途がたたないことから、来年の同時期に延期とする方向で調整しています。（理事会の承認待ちですが、多くの問い合わせがあるため発信しました。4/4に実行委員会で決定、4/11に常任理事会での承認はなされています。）

また、この夏に実施予定だった、第13回日本アグーナリーは、次年度以降に「開催延期」とすることが決定されました。

更に、余談ですが、第18回日本ジャンボリーは、東京オリンピックの跡地を活用して実施する予定でしたが、オリンピックが1年間先送りになったため、開催場所が使用できない状況となっています。これについては、未だ日連からの見解はありません。

※県連盟の指導者研修、スカウト訓練、各種行事の延期・中止等の変更につきましては、県連ホームページにそのつど掲載します。

◆ 県連事務局がテレワーク勤務を実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、4月13日付で茨城県から出されました「5月6日までの全県民への平日・休日を問わない不要不急の外出自粛」、それに伴う、茨城県青少年会館の休館を受け、当県連事務局は以下の対応をとります。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

●事務局の業務

- 事務局全員を テレワーク勤務 とします。
（来訪者は、青少年会館には入館できません）
- 期間は、4月16日（木）～5月6日（水）の間。
（状況によっては延長もあります）

●事務局への連絡

- 茨城県連盟事務局へのご連絡は、**基本的にE-メール**にてお願いいたします。

ibaraki @ scout-ib.net

- いただいたメールはメール担当がそれぞれの担当者に転送します。
- 上記「@」は全角文字となっています。コピペする際は、半角文字に修正ください。

※急ぎの場合のみ、電話での連絡をお願いします。

029-226-8482

- この番号への電話は、事務局長の業務用携帯に転送されます。
- 不在で繋がらない場合は、留守電ではなく、できる限りEメールでお願いします。
- FAXは原則として、受け取れません。**できる限りEメールでお願いします。
- 更に、緊急時は、事務局長の業務携帯

090-4337-1648 に。

●スカウト用品の注文と配送

- テレワーク期間中の、スカウト用品の注文は、Eメールにて受け付けます。
- 月曜後までの注文分は、用品が入荷した週の土曜日に、**送料着払い**で団の送付先宛に送付します。
- 青少年会館の休館中は、県連事務局での受け取りはできません。
- また、急ぎ購入する必要がある場合は、直接、スカウトショップのオンラインショップをご利用ください。

◆ 令和2年度の指導者訓練及び行事等の変更について

今年度の指導者訓練や行事等について新型コロナ感染対策により日程の変更や中止を余儀なくされております。

日本連盟指導養成事業のうち、8月30日までの日本連盟主催コース（ボーイスカウト講習会、ウッドバッジ研修所、ウッドバッジ実修所）については、延期となりました。茨城県連盟の指導者研修につきましても、同様の対応を求められますので、8月30日までは、指導者研修は実施しません。

それ以降の指導者研修については、このコロナ禍でますます先行きが見えない中、できるだけ実施可能な内容に再々度研修スケジュールを組み直しているところです。

年次総会前ですが、今年度の指導者訓練等について、現時点での変更点と対応についてご説明いたします。

まず、茨城県連盟では、指導者養成のために独自に**県定型訓練**として

- ①安全・危機管理研修
- ②野営法研究会
- ③ハイキング研究会 →（野外活動研究会「ハイキング」を名称変更）
- ④ロープ結び研究会 →（野外活動研究会「パイオニアリング」を名称変更）

を、そして**定型外訓練**として

- ⑤スカウティング基本セミナー
- ⑥スキルアップセミナー

を実施しています。

特に①～④までの研修については、初任研修である「基本」から「STEP1」そして「STEP2」へと段階を踏んで学ぶことができるようになっていきます。

今年度の研修計画として、当初は、①～④までの研修を「基本」から「STEP2」までを計画していましたが、新型コロナ感染防止対策により、影響（延期・中止）を受ける訓練や行事等が出て、再度研修スケジュールを組み直しているところです。

ただ、収束の状況によっては、更にスケジュールを組み直す必要が生じることから、今年度限りの措置として、上記の①～④までの研修については、下右図のように対応することとしました。

「安全・危機管理研修」を例に説明しますと・・・

まず、日程Aで実施予定の「基本」が**延期**となった場合、日程Bの「STEP1」の開催日に、この「基本」編を実施します。

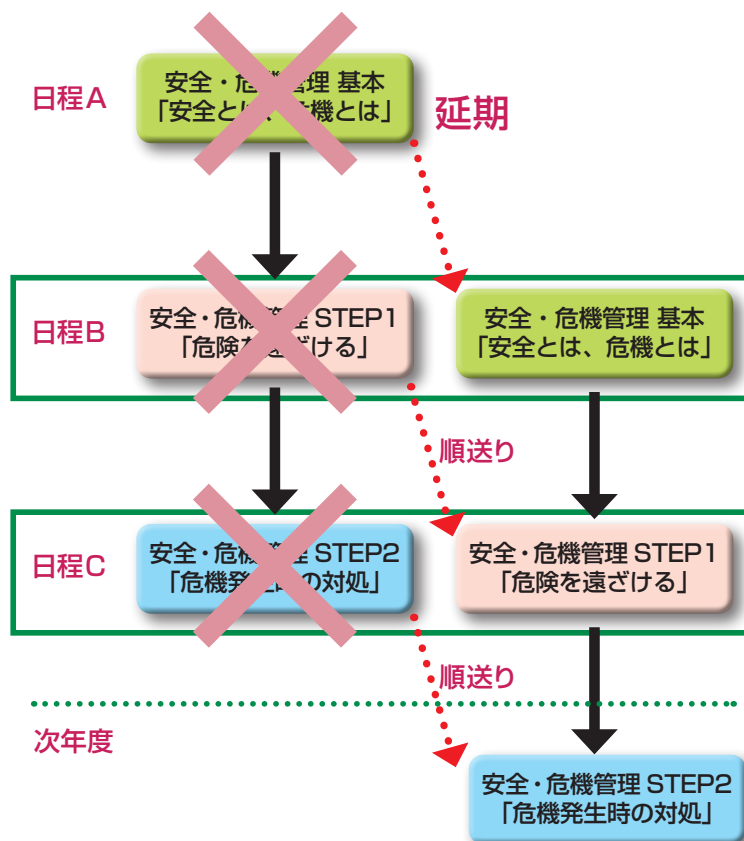
その場合、日程Bで実施予定の「STEP1」は、日程Cの「STEP2」の開催日に実施となります。

そして、日程Cで実施予定だった「STEP2」は、次年度に新たな日程で実施となる・・・という順送りのスライド方式で行うこととします。

現在、スカウトも団・隊指導者も大変不安になっていることと思います。県連盟として指導者研修につきましても、柔軟に対応しますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

また、日本連盟の定型訓練（ボーイスカウト講習会、ウッドバッジ研修所スカウトコース、同 課程別研修）、茨城県連の定型外訓練⑤⑥については、その状況により対応（中止若しくは延期）いたします。

※県連盟の指導者研修、スカウト訓練、各種行事の延期・中止等の変更につきましては、県連ホームページにそのつど掲載します。



◆ 2019 年度後半の行事・研修・奉仕レポート

昨年度、8月以降のスカウト訓練や指導者研修、各種行事の報告が滞ってしまい申し訳ありません。

今回は編集の都合で、写真のみの掲載とさせていただきます。指導者研修の「参加者の声」については、県連ホームページに掲載してありますので、どうぞそちらをご覧ください。



8/31

WB研修所参加者のためのスカウトコースを100%楽しむスキル講座



9/15

「100%スカウトスキルを伝える方法」セミナー

WB研修所 課程別研修 上から BVS, CS, VS, BS



11/15



8/21

大井川知事に24WSJの派遣報告



9/14

第60回ボーイスカウト講習会

11/1-4

WB研修所スカウトコース茨城第4期



12/1



スキルアップセミナー「スカウティング・ゲーム」

◆ いきいき茨城ゆめ国体奉仕

9月28日（土）～10月8日（火）の間、いきいき茨城ゆめ国体（第74回国民体育大会）の各種競技が、県内各地で行われました。ボーイスカウト茨城県連盟は、笠松運動公園陸上競技場で実施される「いきいき茨城ゆめ国体」の開会式・閉会式の支援を行いました。また、支援を予定していた「いきいき茨城ゆめ大会（第19回全国障害者スポーツ大会）」の開会式・閉会式は、台風19号により残念ながら中止となってしまいました。

この両大会奉仕のために名乗りを上げたのは、スカウト21名、指導者19名の総勢40名。支援は3チームで行いました。

1つ目は、「5旗掲揚チーム」。

国旗、大会旗、日本スポーツ協会旗、茨城県旗、ひたちなか市旗、（鹿児島県旗）の掲揚及び降納がその任務です。

2つ目は、「大会旗保持チーム」

大会旗の入場行進、ステージ上の大会旗の保持がその任務です。

3つ目は、「式典用具担当チーム」。

式典ステージ上の式台・杯安置台、旗台座、皇室用机椅子の設営・撤去、宣誓台・整列用ロープの設置・撤去、会場片づけ補助、標旗の設置・撤去がその任務です。

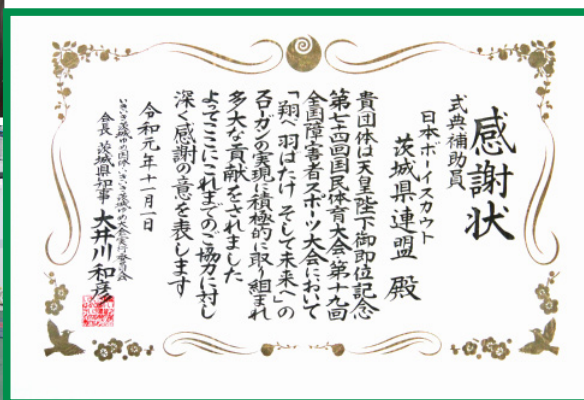
両大会の練習会、リハーサルは8月31日から始まりました。猛暑の中での活動となり、待機時間が長かったり、任務開始のタイミングがなかなか掴めないなど、多少の困難はありましたが、概ね順調でした。しかし、慣れない奉仕活動で、規律正しい姿勢と行動への意識が足りないことを見て取れたため、全員でミーティングを行い、ボーイスカウトとして誇りある姿勢と態度で対応することを改めて全員で確認し約束をしました。それ以降の皆の意識変化は見ちがえるものがあり、以後大会側からは毎回「ボーイスカウトは素晴らしい」との評価をいただきました。

そして迎えた本番当日。多少の不安があるものの、全員がそれぞれの任務を精力的にかつ確実にこなすことができました。皆、疲れはピークでしたが、やり遂げた自信と達成感で晴れ晴れとした気持ちで家路につくことができました。

開会式、閉会式では、整列の状態での待機が長く「気をつけ」「休め」での不動の姿勢を30分以上続けなくてはならないこと、ステージ上の重量設置物の搬送設置を少人数でしなければならないこと、障がい者用の丸いす3000個の搬送・設置・撤去や、音楽に合わせた諸旗の掲揚と日陰のない中での待機等、身体と精神に相当な負担を強いることとなりましたが、奉仕者全員が一言の愚痴も文句も言わず、自らすんで、積極的に、笑顔で奉仕を行ったことは、まさにスカウト精神の発露そのものでした（誇張ではありません）。この奉仕を通じて、参加したスカウト・指導者それぞれが、スカウトとして大いに成長したことを実感されたことでしょう。

ゆめ大会は台風19号の接近で2日前には中止の大英断がなされました。残念ながら、まさに適切な対応でした。

県国体局には、このようなチャンスをいただき深く感謝いたします。また、このチャンスを掴み、やり遂げ「ボーイスカウト茨城県連、ここにあり！」を見事に体現してくれた、スカウト・指導者諸氏を誇りに思うと同時に、心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



◆ 茨城県連盟は、創立 70 周年を迎えます。

みなさん、ボーイスカウト茨城県連盟は、今年 5 月 20 日に満 70 歳を迎えます。

正しくは、今から 98 年前の 1923 年（大正 12 年）2 月 28 日、三島通陽（みしまみちはる：後の第日本連盟の 4 代総長）氏が佐野珧治（さのこうじ：後の茨城の初代理事長）氏の要請に応じて茨城に講演にやってきたところから茨城のボーイスカウトの歴史が始まります。

大正時代から昭和初期にかけて、県内各地でボーイスカウト隊が結成され、昭和 6 年、佐野氏の下にそれらの団長が集まり、茨城県連盟が結成されました。しかし、第 2 次世界大戦で軍部により活動の方向を無理矢理修正させられたことに、消滅してしました。

しかし、戦後間もない昭和 22 年、佐野氏はボーイスカウトの復興、県連盟の再興のために立ち上がり、昭和 24 年、県内には 5 つのボーイスカウト隊が一斉に発隊しました。それを契機に、県内でも各地で隊が設立されました。

昭和 26 年 3 月には、水戸市役所において、県連盟理事会が開催され、佐野氏が理事長に、また、連盟長には、水戸徳川家の御子孫である徳川宗敬氏が就任されました。

そして 1951 年、昭和 26 年 5 月 20 日、茨城会館において、加盟隊 16 隊、スカウト 400 名で茨城県連盟が再び結成され、この日を新たな県連の創設日としました。そして、来年 5 月 20 日に満 70 年を迎えるのです。

茨城県連盟では、令和 3 年の 4 月から翌年 3 月までの 1 年間を、県連盟創立 70

周記念 YEAR として位置づけ、70 周年テーマ「Catch The Scouting Spirit（スカウト精神を掴み取れ!!）三指がつなぐ、ひとつの想い ～過去、今、そして未来へ～」の下に、1 年間に亘る記念プログラムを展開していきます。

70 周記念 YEAR プログラムは、大きく 3 つから成ります。**1 つは**、全ての団が参加する「TSUNAGU（つなぐ）IB Project」です。これには、団の「昔」と「今」、そして「未来」をつなぐ『団「Dream come true」プログラム』、県内の各団のスカウトを歌でつなぐ『リレーソング・プロジェクト』、後輩たちに森をつなぐ『アケーラの森記念植樹』、スカウトと保護者をつなぐ『70 周年記念「IB グランプリ 2021」県大会』があります。

2 つめは、ボーイスカウト内に向けた「70 周年プロジェクト」です。これには、4 つのプログラムが用意されています。

3 つめは、地域との良き関係を作るための「地域とつなぐプロジェクト」です。これにも 4 つのプログラムが用意されています。

そして、今年の夏には第 20 回茨城県キャンパリーがあります。また来年の 11 月、県連創立 70 周年記念式典を、県連の全加盟員を一堂に会して実施する予定です。また、これまでの茨城県連の 70 年を振り返った記念誌の編纂も行います。

70 周年テーマ「Catch The Scouting Spirit 三指がつなぐ、ひとつの想い ～過去、今、そして未来へ～」の「つなぐ」



には「未来」「希望」「絆」「可能性」「持続 Sustainable」の意味が込められています。具体的には・・・

- ・県内全てのスカウト・指導者の気持ちとココロを「今」つなぐ
- ・先人達が紡いできた茨城のスカウティングの歴史と意思を受け取り、これからのスカウトや指導者たちに つなぐ
- ・私たちを取り巻く地域社会と、スカウティングをつなぐ
- ・日本中、世界中のスカウトと茨城のスカウトとをつなぐ
- ・進取の気性に富んだ茨城のスカウトのココロ・精神を継承し、次代につなぐ
- ・・・という私たちが「今」行っていくミッションもまた示しているのです。

さあ、皆さん!! 力を合わせて、スカウトの歓声が県内に広がる「未来」への足がかりとなる、70 周年を作り上げて行こうじゃありませんか!!



SC-IB Newsletter

SC-IB (Scouting Ibaraki) Newsletter 2020 年 4 月号 通算 21 号

2020 (令和 2) 年 4 月発行

発行 日本ボーイスカウト茨城県連盟事務局

〒310-0034 水戸市緑町 1-1-18 茨城県立青少年会館 3F

※ SC-IB Newsletter は、不定期で発行しています。

※ SCOUTING 茨城に掲載されている写真・文章等は著作権法等により保護されています。著作権者に無断の複写・転載は堅くお断りいたします。